



九条の会

九条の会奈良県ネットワーク運営委員会
 発行責任者 佐川愛子
 ✉ nara9jyonokai@gmail.com
 ☎ 090-9885-9756
<http://blog.goo.ne.jp/9naranel>
<http://www.nara9jyonet.com>
 50号 2021年6月14日発行



「熟議による合意形成を重ね国民の理解を深めていく事が重要」との憲法審査会の基本理念をかなぐり捨て強行に進める自公政権に抗議の集会や声を上げました。この取組は参考人の意見表明に反映され「熟議になっていない」事が明らかになりました。引き続き公平・公正な国民投票法を求めていきます。

九条の会奈良県ネットワークへの2021年度の協力金をお願いします。
送付先: ゆうちょ銀行
 記号14530 番号27006271
 九条の会奈良県ネットワーク

桜井九条の会は6月9日、桜井駅北口で「憲法変えるな」のスタンディングを3人で行いました。ところが、途中から下校途中の高校生2名がスタンディングに参加してくれました。30℃を超える西日の中でしたが、楽しい宣伝となりました。写真は、一部加工しています。もちろん、本人たちの撮影可の同意も貰っていますが、念のため加工しました。



生駒九条の会；定例の6・9行動 in 生駒。新しく「スガ政治を許さない」ポテッカーを作って初めてのスタンディング宣伝。生駒市では、「感染拡大緊急警報」発令中、サイレントスタンディング宣伝としました。特に呼びかけもしませんでした。なんと21名が参加。嬉しいことです。駅や百貨店に急ぐ人ものぞき込むように横断幕やポテッカーを見ておられました。コロナ禍ですが、自粛はしても委縮はせず、コロナ対策、スガ9条改憲 No、オリンピック・パラリンピック、汚染水海洋放出、老朽原発再稼働など「スガ政治を許さない」声を挙げ続けましょう。

広陵9条の会は、5月19日、毎月恒例の19の日行動を エコールマミ（商業施設）2階通路で、午後4時集合～4時45分までおこなわれました。8人が参加、県会議員の今井光子さんも参加しました。コロナの感染拡大が収まらず、みなさんの不安が大きいことも考慮して、ビラ配布と署名行動はやめ、横断幕とアピールボードによるスタンディング宣伝とマイク宣伝を行いました。世話人会メンバーと今井 県議がマイクを握って、コロナ感染対策問題、高齢者 医療費2倍化ストップ、国民投票法改定と改憲問題、日米首脳会談共同声明と大軍拡問題、オリンピック・パラリンピック開催問題、核兵器禁止条約への署名・批准問題などを訴え、秋までに必ずおこなわれる総選挙で、市民と野党の共闘で政権交代を実現しようと呼びかけました。同時に行った1. オリンピック・パラリンピックの開催についてのシール投票には34人が応じてくれ、結果は次の通りでした。

- ・中止すべき 21人
- ・延期すべき 5人
- ・無観客で実施 2人
- ・開催すべき 1人
- ・わからない 5人



2. 「改憲発議に反対する全国緊急署名」は5月末500筆目標で取り組んでいます。現在の到達は490筆になっています。5月7日、15日に計133筆を九条の会事務局へ送りました（これまでの累計460筆）。

3. 広陵9条の会で4本目の大看板（90cm×180cm）を古寺区の入口交差点に設置しました。

奈良市九条の会交流会は「憲法が大変！」と4月29日に近鉄奈良駅、JR奈良駅で連続の街宣、5月3日はJR奈良駅前トークに参加。5月19日に運営委員会を行い、5月30日学園前、6月6日JR奈良駅で街宣、憲法審査会の理事や委員に抗議や激励のファックス・葉書を送ることを決めました。

5月30日、6月6日の街宣にはありの会合唱団の皆さんも参加。23名で「憲法9条を守れ、スガ改憲NO!」を市民に訴えました。「もし憲法に緊急事態条項をかきこんだら？」のチラシ200枚を配りました。参加者からの二人のトークを紹介します。

Aさん；「ウイルスワクチン騒動のパンデミック。世界中での収束がみえぬままオリンピックパラリンピックを強行。同時に、世界的戦争国家への仲間入り。戦闘の現地訓練をしてよかったと参加隊員に言わせている。誤りにより大きな誤りを積み重ねる事で仕方なかった！過去の事だったと思い込みた心理！私はこれを恐ろしい事と思っています」

Bさん；「いま、日本はコロナという国家の危機、世界の危機の中にいます。オリンピックで覆い隠されているのはコロナだけではなく日本が戦争の準備にいそんでいること。その事を見逃さないようにしたいものです。それは日本の行方を見定める事です。あらゆる面で出来るだけ声を上げていきましょう」

最後に「ふるさと」を参加者全員で歌いました。歌声が世界に広がり、戦争のない平和が広がることを訴えた街宣でした。



平城ニュータウン九条の会は5月9日15時から近鉄高の原駅前で「9条アクション」を行いました。「憲法が大変」と初めて参加された方や少しでも参加したいと13名で「改憲発議に反対する全国緊急署名」「核兵器禁止条約」「ミャンマー民主化署名」を市民に訴えました。「憲法大変！」のチラシを100枚配布しました。チラシは若い方が関心を持って受け取っていただきました。高校生が数人歩いていたので「絶対戦争に行ったらダメよ。戦争に行かなくていいように頑張るからね！」というチラシを受け取って読んでいました。チラシには「今、憲法は分かれ道にあります。憲法を変えて『戦争が出来る国』にするのか、憲法9条を守り『国民の安心した生活』を守るのか、その岐路に立っています。緊急事態条項が総理大臣に全権を委任、権力が集中され、ナチスの独裁政権を許した全権委任法と同じ内容です。ヒトラーはたった1か月で独裁政権をつくりました。コロナ感染や災害への対応は法律で対応できます」と書かれています。「おかしいと思えば声をあげましょう。国民の声が政治に反映されます。改憲を止めるのは国民の声です」と訴えました。



強行採決ありきで進められた憲法審査会の審議は、専門家による参考人が多くの問題点を指摘、「根本的に欠陥がある」と述べるほどずさんなものでした。国民はコロナ禍で苦しみ、明日のいのちと生活に不安と困難を抱えています。「コロナ禍のピンチはチャンス（下村博文自民党政調会長）」と国民を蚊帳の外においたままの強行採決は許されません。自公、維新がすすめる「スガ改憲」を阻止する運動を強めていきましょう。